

# ふくふく通信 No. 23

発行 常岡病院広報委員会 ☎ 072-772-0531

## 患者様・利用者様本位の科学的根拠に基づいた良質な医療・介護サービスの提供

### 基本方針

- 私たちは、患者様・利用者様の安全・安心・信頼を得る為に専門職の義務として医療知識の習得、医療技術の研鑽に努めます。
- 私たちは、地域に根ざした病院を目指し病病連携、病診連携を図ります。
- 私たちは、患者様・利用者様に満足していく説明と情報開示を行います。
- 私たちは、患者様・利用者様の権利を尊重し、自立への支援に努めます。
- 私たちは、患者様・利用者様満足の向上を目指して継続的改善を実践します。

# 高齢者の食事について

若いときは何でも食べられた人でも、年齢を重ねるに従って、食欲が低下したり、うまく食べられなくなったりすることがあります。高齢になっても、楽しく食事をし、元気な生活を送るためにはどうすればいいでしょうか。内科医からのアドバイスををご紹介します。



### 高齢者の食事の特徴

高齢になると食欲が低下し、低栄養になりやすくなります。食事量低下の原因は加齢による味覚・嗅覚の衰え、嚥む力、のみこむ力、消化吸収能力の低下などが考えられます。その他、生活習慣病、運動不足、水分不足、便秘、うつ、認知機能低下、薬の副作用、義歯の不具合などが原因となることがあります。

### 高齢者の食事形態、調理法

嚥下機能が低下すると誤嚥性肺炎や窒息の恐れがあります。食事形態を工夫する必要があります。のどごしの良い食事としては、おかゆ、ゼリー、プリン、ヨーグルト、アイスクリーム、ポタージュスープ、卵豆腐、ミンチ状のものなどがある

### 高齢者の食事のポイント

高齢者の食事は栄養が偏りがちになるので、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、食物繊維などを積極的にとるようにしてバランスの良い食事を心がけましょう。

楽しく食べる工夫としては、規則正しく食事やおやつをとること、盛りつけや食器を工夫すること、季節に合わせた食材を使用し、行事食をとり入れること、家族や友人と楽しく食べるなどが

### 食事介助の方法

が挙げられます。

食前に目が覚めているか意識状態でチェックし、うがいや口腔ケア、入れ歯の洗浄などを行い口の中を清潔にします。食事中はできるだけ上体を90度近い状態に保ち、一口一口注意して食べることが誤嚥性肺炎の予防につながります。

### 当院での栄養管理の取り組み

高齢者にとって食事は大きな楽しみであるとともに、身体機能の衰えを防ぐために重要です。当院では管理栄養士を中心に構成された栄養サポートチーム（NST）が入院患者さまの栄養状態を評価し、必要な場合は栄養保給の提案を行い、

豊明会グループは  
高齢者の食生活をサポートします

食事についての  
疑問など、お気軽に  
ご相談ください!



栄養状態の改善や治療効果の向上に努めています。退院後当院系列の介護付き老人ホーム、サニーガーデン伊丹に入居となった方の場合は、老人ホームと連携を図りアフターフォローも行っています。高齢者の食事について詳しく知りたい方は担当看護師や医師、管理栄養士にお問い合わせください。



知って  
ほしい！

# 地域包括ケア病棟のこと

常岡病院では、2017年4月より、地域包括ケア病棟を開設しています。

どのような役割を持つ病棟なのか、病棟の看護師、リハビリテーション科、地域連携室、医療情報管理室のスタッフに話を聞きました。

## 地域包括ケア病棟とは

**看護師長 吉川幸美**・地域包括ケア病棟は、**患者さまが在宅生活に戻れるよう、医療や支援を行うこと**を目的としています。在宅患者さまで肺炎、心不全、骨折などの疾患を発症したとき、食事が取れなくなり衰弱したときなど入院治療が必要な状態になった場合の受け入れや、急性期の入院をした後に、退院が決まってもまだ自宅に帰れるるほどには回復が不十分な場合などに、**60日間を上限に受け入れ**ます。リハビリをしたい、食事を食べられるようになりたい、というような希望に応じて、一人一人に適したケアを行います。そのほか、レスパイトケア（介護者が一時的に介護から離れて休息するための家族支援サービスのひとつ）、糖尿病の教育入院、抗がん剤治療を受けておられる方などにもご利用いただいています。

**地域包括ケア病棟は、地域の皆さんが、住み慣れた土地ですと暮らせるよう支援すること**を目的としています。そのために、医師、看護師、リハビリテーション科、栄養科、薬剤部など、あらゆる部署が連携し、患者さまを支えています。

## 部署間での連携が 大事

**リハビリテーション科科长 仲谷 麻美**（理学療法士）・地域包括

ケア病棟では、**入院期限が60日以内**に決まっています。そのため、**入院時から退院後のことを考え、計画を立てていきます**。リハビリテーション科も各部署のスタッフと連携し、患者さまが元の生活に戻るための支援をします。

**リハビリテーション科 山田百合子**（理学療法士）・できるだけ早く回復していただくためには、リハビリの時間だけでなく、24時間どのように生活しているかを広い視点で見ることがあります。看護師さんから夜間の様子を聞くなどして、リハビリの計画に役立っています。

地域包括ケア病棟の多くの患者さまは、「自宅で自立した生活を送る」ことを目標にされています。そのため、受け身のリハビリではなく、「自分ですること」を大事にしたリハビリを提供し、力を引き出していきけるように心掛けています。



## ふくふく ニュース 看護学生見学会

頑張れ！  
未来の看護師たち



8月8日（木）に、伊丹市医師会准看護高等専修学校から、7名の学生が、常岡病院の見学会に訪れました。病院には、同校の先輩たちもたくさん勤務しています。施設の見学を行うとともに、職員との面談も実施されました。学生たちは、看護業務についての質問をするなど、熱心に話を聞いていました。豊明会グループでは、毎年看護学生の見学会を行っています。

豊明会グループ 法人本部 本部長 山本二郎

学生さんたちには、病院の雰囲気や職場環境、先輩たちの働いている姿などを、肌で感じていただいています。また、このような見学会が優秀な人材の採用につながればと思っております。



特集 知ってほしい! 地域包括ケア病棟のこと

患者さまに寄り添う支援を

地域連携室課長 柴田朋代 (社会福祉士・介護支援専門員) ・ 地域連携室には4名のMSW(社会福祉士)が所属し、患者さまとご家族さまが安心して生活できるように、入院から退院までの支援を行っています。社会福祉士は、国家資格であり、福祉の専門職です。プロの知識と経験で、**患者さまの健康と尊厳を守りながら支援**をしています。

地域連携室 松居飛鳥 (社会福祉士・精神保健福祉士) ・ 患者さまご本人が、納得のいく自己決定をするために、できるだけわかりやすく話をする、資料を渡して説明するなどコミュニケーションの工夫をしています。また、ご家族さまともお話し、ご本人が退院後も生活を維持できるようお手伝いします。

病棟を陰から支える仕事

医療情報管理室 主任 池田ゆかり (診療情報管理士) ・ 地域包括ケア病棟は、国が決めた施設基準で順守しなければならない「在宅復帰率」などの数値がたくさんあります。月単位で数値を算定するのですが、1回でも達成できない月があると、施設の存続ができなくなることもあります。そのため、**数字に対する厳密性を常に意識**

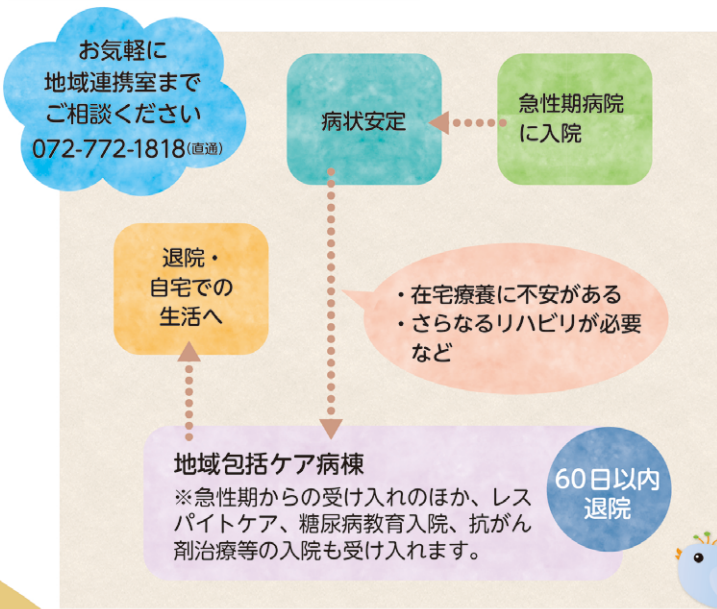
し、気になることがあれば早めに他部署に連絡するようにしています。直接現場のケアに関わることはあり



ませんが、病棟を陰で支える仕事だといえます。  
看護師長 吉川幸美 ・ この病棟で必要とされる「在宅に戻る」ためのケアや取り組みは、他の病棟の患者さまへの支援にも生かせるものです。地域包括ケア病棟の仕事を通して、全てのスタッフが成長できたらと思っています。



地域包括ケア病棟で働くスタッフたち



研究発表を行いました!

常岡病院から栄養科、看護部、薬剤部、リハビリテーション科、診療部が協力し、研究発表を行いました。チームで協力して、入院患者さまの食事をサポートし、栄養状態を改善した事例をもとにしています。

テーマ 食べることを支える～地域連携を目指して～

主催 一般社団法人兵庫県全日本病院協会、一般社団法人兵庫県民間病院協会、兵庫県医療法人協会

食堂バイキング開催!

9月24日(火)、職員の福利厚生として4F食堂で昼食バイキングを行いました。ピザ、パスタ、煮込みハンバーグ、サラダ、デザートなど多彩なメニューがたくさん。いつもと違う食事を楽しみました。



ふくふく  
ニュース  
栄養科より

管理栄養士 川村久実

第7回

# つねおか健康祭り 開催のお知らせ



**日時** 2019年11月10日(日)  
10:00~13:00(受付は9:45から)

**場所** 常岡病院1Fロビー他

第7回目となる、つねおか健康祭り。秋の恒例行事として、楽しみにしておられる方も多くと思います。今回も新企画を加え、例年以上に充実した内容を目指します!

## 新企画

- 株式会社フロンティアさまによる「体圧測定会」
- 伊丹市内の養蜂場、テラゲンファームさんの「純正はちみつプレゼント」(先着30名様)



その他、楽しい企画がたくさん!

- 堀尾先生の健康講座 ● コンサート
- 災害復興チャリティーバザー など



ふくふくとピック

# トライやる・ウィークに ようこそ!



## 中学生のお仕事体験

**第1次実施** 5/13(月)~5/17(金) 伊丹市立北中学校

**第2次実施** 6/3(月)~6/7(金) 伊丹市立西中学校

豊明会グループでは、兵庫県の中学生在職体験をする「トライやる・ウィーク」の受け入れを毎年行っています。

常岡病院、介護付き有料老人ホームサニーガーデン伊丹、リハビリ特化型デイサービスエミアスなど、豊明会グループのさまざまな職場で、実際の仕事を体験しました。



サニーガーデン伊丹では入居者さまのレクリエーションの補佐を体験したり、施設の見学をしたりしました。

## 編集後記

高齢社会となった現代、今まで以上に「地域のつながり」が重要になっています。今回は、地域包括ケア病棟についてお届けしました。そのなかで「コミュニケーション」を大切にしているというスタッフの声が印象的でした。仕事をするうえで、技術や知識はもちろん大切ですが、まずは身近な挨拶や会話が、信頼関係につながるのだと思います。

近年、近所づきあい、親戚づきあいが希薄になりがちですが、だからこそ、人間関係を大事にしたいものです。まずは周囲の人に「笑顔で挨拶」を心掛けたいと思います。

次回24号は1月発行を予定しています。

## 外来診療担当医案内表

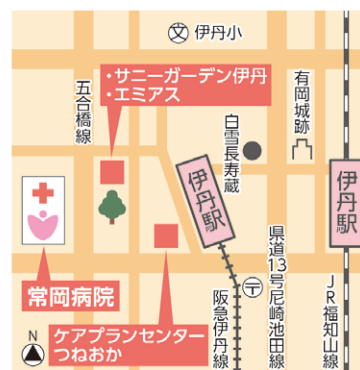
都合により担当医が変更になる場合がありますが、ご了承くださいませ。

		月	火	水	木	金	土
内科	午前診 9:00~12:45	常岡 堀尾	堀尾	常岡	堀尾	常岡	堀尾(第1) 担当医 (第2・3・4・5)
	午後診 14:00~16:30	※皮膚科 片山(淳)	太田	※皮膚科 片山(淳)	担当医	堀尾	休診
外科	午前診 9:00~12:45	整形外科 中村	中院	整形外科 中村	中院	整形外科 中村	政田 または 前田
	午後診 14:00~16:30	中院	整形外科 中村	前田 (第1・3・5) 梶田 (第2・4)	中院	形成外科 担当医	休診

※2019年9月27日現在。

## 主な検査・機器

- 単純X線 ● 全身CT
- 全身MRI ● 脈波検査
- 心臓・腹部超音波検査
- 上部消化管内視鏡検査
- 心電図 ● ホルター心電図
- 簡易睡眠ポリグラフ
- 肺機能検査 ● 骨密度



医療法人社団 豊明会  
**常岡病院**

〒664-0857 伊丹市行基町2丁目5番地

☎072-772-0531

阪急伊丹駅より徒歩5分・JR伊丹駅より徒歩15分



QJ01464/ISO9001

2005年5月

ISO9001 認証取得